

【算数・小5・「三角形と四角形の面積」】①

育成を目指す資質・能力

- (知識・技能) 平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積の求め方を理解し、公式を用いて面積を求めることができる。
- (思・判・表) 平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、既習の面積の求め方を基にして、図や式を用いて面積の求め方を考え、表現することができる。
- (学びに向かう力等) 平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積を、図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりする。

ICT活用のポイント

既習内容の共有や相手に自分の考えを説明する活動に活用

【課題把握】
既習事項の確認

【自力解決】
自分の考えの根拠を整理する

【集団解決】
ペアで考えを伝え合う

【価値の共有】
学級全体で共有する

事例の概要

- ICT端末で既習の三角形や長方形、平行四辺形の求め方を振り返りながら、台形の面積を自力解決で求める。
- ICT端末を利用しながら、自分の考えを相手に分かりやすく、筋道を立てて説明する。

【事例におけるICT活用の場面①】[自力解決]

自力解決の場面において、既習の求積方法を学習支援ソフトで共有することで、本時の課題解決の見通しをもつ。また、テキストカード上の図形に自由に線を引いたり、消したりすることができるため、自分の考えを容易に試すことができる。

【事例におけるICT活用の場面②】[集団解決、価値の共有]

集団解決の場面において、ICT端末を手に、図形にタッチペン等で印を付けながら自分の考えを説明する。価値共有の場面では、児童が大型提示装置で示しながら説明し、求積方法について比較・検討を行う。

【算数・小5・「三角形と四角形の面積」】②

【事例におけるICT活用の場面①】



- 前時までに行った、平行四辺形の面積の求め方と三角形の面積の求め方を、学習支援ソフトで共有しておくことで、本時の活動に見通しをもつことができる。
- 学習支援ソフトを活用し、台形の図に線と式をかくことができるシートを作成し、配布することにより、いくつかの求積方法を考えることができる。
- シートを作成することができた児童から、学習支援ソフトの提出箱に提出してお互いに見合えるようにすることで、課題の解決で困っている児童が参考にすることができる。

【事例におけるICT活用の場面②】



- 隣の人とペアになり、ICT端末を手に、図形にタッチペン等で印を付けながら自分の考えを説明する。自分の考えを相手に分かりやすく伝え、相手の考えを理解しながら聞こうとする児童の姿が見られた。
- 価値の共有場面では、学習支援ソフトの提出箱に提出された考えの中から、教師が意図的に取り上げ、児童が大型提示装置で示しながら説明することで、多様な求め方を知り、比較・検討することができる。

【活用したソフトや機能】

・学習支援ソフト テキストカード 回答提出機能 回答共有機能